

## はじめに

今年度は、新たな管理体制のもと職場づくりと実践づくりを進めていく年度となりました。取り分け実践づくりの課題とし、当施設の強みである外出、飲水等の自立支援の取り組みは継続しつつ、生活支援のもう一つの原点である基本的ケアの質向上への視点づくりに取り組みました。以下、2018年度方針に対し総括を行います。

## I、利用者本位の援助実践を目指します

### ① 寄り添う介護、特に認知症の入居者の方とのかかわりの向上を目指します。

認知症に伴う周辺症状に対し、寄り添う対応を行うよう心がけました。帰宅願望の強い方へは、気持ちが落ち着くよう可能な限り職員が付き添い、外出、施設外の散歩を行いました。また、対応力の強化を図るためバリデーションの研修に参加し、職員による伝達講習を行い、意識の向上に努めました。

### ② 原則的なユニット調理、居酒屋企画に取り組みます。

ユニット調理の特性を活かし、目の前の入居者様の体調に合わせ食形態を変更する等、細やかな対応が出来ました。また、移転後初となる居酒屋企画「居酒屋けんちゃん」を9/22に開催することが出来ました。

### ③ ADLに応じた入浴の提供と排泄ケアの自立支援、おむつゼロを目指します。

ご入居者様の心身レベルに合わせた入浴方法の見直しを行い、実施しました。また、排泄ケアへの取り組みも、安全・健康面を考慮するとともに実践することが出来ました。おむつゼロ指数は27%(30名/110名がおむつゼロ)となりました。

### ④ 年間200回の季節行事・外出企画に取り組みます

年間を通じ275回(外出113件、その他162件)のイベント企画を実施することが出来ました。取り分け、週3回のレクを計画的に行うユニットやユニット又はフロアーをまたいで合同企画とし「ブリの解体ショー」「夏祭り」等の新たな実践を行うことが出来ました。

## II、安全安心の施設運営

### ① 必要な人が安心して利用できる施設運営をめざし、経済的困難者・低介護度申込者への丁寧な支援に取り組みます。

本年度も、社会福祉法人による利用者負担額軽減制度と生活保護制度を通じ、それぞれ13名と8名の方がご利用されました。また現在、要介護2以下の方の申し込みを17件受け付け、実際に3名の方に施設利用をしていただいています。

### ② 事故予防・感染予防および褥瘡ゼロに取り組みます。

事故防止及び感染予防への取り組みについて、委員会の機能強化を中心に取り組みを行いました。取り分け事故防止への取り組みとして、アクシデントを防止するためのインシデントの積み上げ、報告の徹底、報告書式の見直し、事故再発防止カンファレンスの充実、対策の再評価、リスクマネジメント学習の開催(3回)を行いました。結果、転倒・転落の事故件数が昨年220件に対し、175件へ減少しました。また、褥瘡ゼロの取り組みに向け、褥瘡リスク評価表(ブレーデンスケール)と状態評価表(DSIGN-R)を取り入れ、

リスクのアセスメントと褥瘡の重症度の評価、経過をわかりやすくしました。現在褥瘡有病者は5名です。

- ③ 虐待予防、人権意識の徹底教育に取り組み、職員のメンタルサポートに取り組みます。  
人権、虐待防止、身体拘束の学習会を年間2回開催し、学び考える機会をつくりました。  
また、安定的なメンタル状態で日常的なケアに当たれるよう、主任及び部長を中心に状況に応じ、個別面談等のサポートの強化を図りました。

### Ⅲ、人材育成と確保、職場づくり

- ① 民主的管理運営に徹した職場運営を行い。年に2回の育成面談・適時個別面談による各職員への個別指導援助を行います。  
「自分たちの思いを実践へ」の実現に向け、報告型の会議方式ではなくボトムアップ型の会議方式としました。「ユニット会議」→「リーダー会議」→「管理会議」と会議の位置づけをかえ、管理会議内で意識的に職員からの要望実現に向けての議論を進めました。面談については、部署によって年2回の面談が未実施となっていますが、個別への早期対応や面談の質強化も含め、前年度28名の退職者に対し、今年度は7名と大きく改善することが出来ました。
- ② 全ての職場で、外部研修・先進施設の視察に取り組みます。  
年間を通じ外部研修20件、施設研修3件の取り組みとなりました。
- ③ 新卒者確保へ向けて各種就職説明会、学校訪問に取り組みます。  
各種就職説明会へ3回、学校訪問へ2回参加することが出来ました。
- ④ 必要な資格取得・研修に取り組み、介護職による喀痰吸引等の体制を進めます。  
介護職による喀痰吸引等研修への取り組みを進め、11名の職員に実地研修が実施できるよう準備を進めることが出来ました。

### Ⅳ、家族・地域との連携

- ① 家族会と協力し、家族参加行事に取り組みます。  
家族会との協力も含め、家族参加型の行事企画を意識的に取り入れることが出来ました。  
年間を通じ、39回の家族参加行事に取り組む事が出来ました。
- ② 友の会組織を強化し、中野けんせいえんブロック活動の拡充に取り組みます。  
今年度、中野けんせいえんブロック活動の強化として、資源回収への取り組み(年4回)、秋の小旅行(11/11 開催)、懇親会(3/14 開催)と新たな取り組みを行なうことが出来、交流を深めることが出来ました。
- ③ 中野地区との連携し地域行事への参加・協力を強めます。  
地域行事への参加として、御旅所巡り(5/13)、西大寺中学校運動会(5/25)、精霊送り(8/15)、西大寺学区運動会(10/7)に参加・協力を行うことが出来ました。また、今年度より地域に根ざした運営づくりを目的に、地域運営推進会議(3/25)を開催することが出来ました。
- ④ さいさいこども食堂との連携を強めます。  
今年度もさいさいこども食堂を毎月開催していただくことが出来ました。職員の参加は毎月とはいきませんでした。参加時には参加者の皆様と交流することが出来ました。  
また、実行委員の方々と全日本民医連協同組織活動交流集会 in 神奈川(9/9.10)に参加するこ

とができました。

- ⑤ 市内の高齢者施設介護事業所との連携交流をはかります。

近隣の介護事業所と実践交流することが出来ました。また、来年度から継続的に実践づくり・交流が出来るよう、3事業所と現在協議を進めています。

## V、安心して暮らせる地域社会、社会保障・平和の課題

- ① 岡山市社保協行政懇談や自治体キャラバン・民医連等の署名活動などの社会保障を改善する取り組みを行います。

社会保障の充実を目指し、対市懇談の場に1名が参加することが出来ました。署名活動の到達としては、介護改善署名138筆、国保署名162筆、9条改憲反対署名147筆の到達となりました。

- ② 全ての職場から平和行進に参加し、原水禁大会へ施設からの代表を派遣します。

戦争のない誰もが安心して生活できる国づくりの実現を目指し、平和行進へ4名参加が参加し、原水禁へ1名が参加することが出来ました。

- ③ 戦争体験の聞き取り活動に取り組みます。

3名のショートステイご利用者の方を中心に戦争体験を聞かせて頂くことが出来ました。

## VI、安定した経営

- ① 一日平均稼働目標は、特養105.5名、短期9名とします。

年間を通じ一日平均稼働が、特養101.5名、短期9.6名と非常に厳しい稼働状況となりました。大きな理由として、年度内の入院延べ日数が2393日と前年度に比べ1179日増加しています。

- ② 利益目標1.0%とします。

年度利益は▲2.8%と非常に厳しい経営状況となりました。

- ③ 制度改定への対応としてあらたな加算の取得をめざします。

職員体制上の課題もあり、新たな加算取得を行うことは出来ませんでした。看取り加算については意識的に書式、記録づくりを行い、すべての看取りにおいて算定することが出来ました。

## 特別養護老人ホーム中野けんせいえん 2019年度 方針

### I、やりたいケアからやって欲しい(望まれる)ケアへの転換を図ります

- 1、入居者様、ご家族様の利用ニーズを明らかにし、ニーズに沿った実践づくりを行います
- 2、自己選択・自己決定を中心に据えた、個別ケアの推進を行います
- 3、「より楽しく、より良く生きる」につながる自立支援に努めます
- 4、健康を支える基本的ケア及びリスクマネジメントの充実を図ります
- 5、実践の進捗状況及び満足度についての評価を行います

### II、人財育成の充実を目指します

- 1、ユニットリーダー、役職者の資質向上を図ります
- 2、気付く目、考える頭、行動するエネルギーの充実を図ります
- 3、目標管理の効果的な活用を検討し実践していきます
- 4、外部研修に積極的に参加し、施設運営及び実践に活かします
- 5、施設内学習の内容向上と学習スタイルの多様性を検討します

### III、評価の見える化を図ります

- 1、組織マネジメントに求められる到達を明らかにし、定期的な評価を行います
- 2、個別ケア実践に求められる到達を明らかにし、定期的な評価を行います
- 3、施設内で活用できるキャリアパス、キャリアラダーの研究を行います
- 4、スーパービジョン機能の強化を図ります

### IV、退職者0施設を目指します

- 1、健全な職場づくり、チームづくりを行います
- 2、職場及び職種を超えた関係づくりに努めます
- 3、適切な労務管理及び業務改善を随時行います
- 4、職員の事業所満足度を高めます

### V、職員のやる気と生活、健康を守る経営

- 1、1日稼働114.5名と入居契約110件を日々意識し、取り組みます
- 2、入居者健康管理委員会及び入居検討委員会の質的向上を図ります
- 3、職員給食の可能性を検討します
- 4、ユニット別予算の研究を進めます

### VI、地域との関係づくりを推進します

- 1、地域行事に積極的に参加します
- 2、友の会中野けんせいえんブロック活動の充実を図ります
- 3、地域運営推進会議の充実を図ります
- 4、地域共同での防災・減災対策への取り組みを進めます